

東オホーツク

(北海道網走市、美幌町、斜里町、清里町、小清水町、大空町)

注目ポイント！

知床世界自然遺産を最大限に活かして、国際的な観光地へ。
冬季資源(流氷観光等)を活かした通年型観光の推進。



外国人宿泊者数が約6,000人(平成9年度)から約22,000人(平成17年度)に！
流氷船運航後、冬季入込客数が約63万人(平成元年度)から約102万人(平成17年度)に！



流氷砕氷船「おーら2」船上風景

コラム

東オホーツクに魅せられたひとりである。平成10年JTB網走支店長に赴任し、平成14年50歳で退職後、網走に移住する。

現在は、愛するオホーツク・網走を中心とした東北北海道の体験型観光のコーディネーターとして、「ひと味ちがう感動の旅」を企画・提案している。



東オホーツクシーニックバイウエイ
連携会議 代表 高谷 弘志氏

これまでの経緯

- 平成 3年(1991) 流氷砕氷船「おーら」が網走港で運航開始する。
- 平成 14年(2002) 女満別空港に初の国際チャーター便(台湾)が乗り入れる。
- 平成 16年(2004) 開通前の知床横断道路を歩くイベント「知床雪壁ウォーク」を開催する。
ビューポイントパーキング「メルヘンの丘」の整備を開始する。
- 平成 17年(2005) 東オホーツクが「シーニックバイウエイルート」に指定される。
知床がユネスコの「世界自然遺産」に登録される。
濤沸(トーフツ)湖がラムサール条約登録湿地に登録される。

主な取り組み

東オホーツクシーニックバイウェイ

「みち」をきっかけに地域住民と行政が連携し、地域の活性化を目指す「シーニックバイウェイ北海道」。

現在、東オホーツク地域では48の活動団体が、沿道の植栽や清掃、イベントの開催や体験ツアーの企画・開催など、幅広い活動を実施。活力ある地域づくりに寄与。



冬の神の子池かんじきツアー



網走港～知床クルーズ

みなとで交流する観光地づくり

網走市では、「世界遺産を活用したみなとの観光振興」をテーマに、網走港を対象とした「網走港～知床クルーズ」体験航海や「網走港～網走湖水上バス」体験運航などの社会実験を実施。

将来の新しい観光振興メニューの可能性を検証。

ビューポイントパーキング

地元自治体、観光協会等と道路管理者が連携して、地元の人が勧める美しい風景の観光(撮影)ポイントに、撮影場所、4カ国語案内標識等を備えた駐車帯を整備(大空町「メルヘンの丘」)。安全で美しいビューポイントを創出。



ビューポイントパーキング

知床雪壁ウォーク

雪壁ウォーク実行委員会(斜里町・羅臼町・各町観光協会・読売新聞北海道支社)が、11月～4月の冬期間閉鎖されている知床横断道路を開通前に歩くイベントを開催。知床の自然の厳しさと大パノラマの素晴らしさを体験できるイベントとして定着。



第1回知床雪壁ウォーク

問い合わせ先

東オホーツクシーニックバイウェイ
連携会議事務局(清里町商工会内)
北海道網走市水産港湾部港湾課
北海道大空町商工観光課
北海道斜里町経済部商工観光課

Tel : 0152 - 25 - 2628

<http://www.scenicbyway.jp/>

Tel : 0152 - 44 - 6111

<http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/>

Tel : 0152 - 74 - 2111

<http://www.town.ozora.hokkaido.jp/>

Tel : 0152 - 23 - 3131

<http://www.town.shari.hokkaido.jp/>